

社会人基礎力協議会News



第14号 2023年12月11日発行

1 人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ エントリー受付開始！

グランプリ委員会

2023年度の「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」へのエントリーを開始しました。コロナ禍以降、オンライン開催を行ってきました。オンライン開催は、場所に寄らない参加しやすい大会となりました。また地区予選大会毎の参加チーム数の差が大きい場合に、参加の少ない地区へ移動していただくことで、チーム数の格差の少ない予選大会を運営できました。今年度もオンラインで開催いたします。

大会趣旨

経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」に賛同し、大学での学びにおいて、社会人基礎力の教育の普及と、その効果的な教育方法の研究の推進を目的に、「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長をとげた学生らの多様な実例を集わせ、これらを審査、表彰し、その実例の周知を図ります。

申し込み方法と全国決勝大会までの流れ

出場エントリーはWEB申請です。エントリー内容の審査を行い、審査結果についてメールにてご連絡します。予選大会に参加していただく地区は、応募チームの地区を基本としますが、参加チーム数の調整により、地区予選大会の合同開催、またはエントリーした地区とは異なる地区への参加をお願いする場合がありますので、ご了承ください。各地区の予選大会から代表1チーム（または2チーム）が2024年3月に開催する全国決勝大会に進出します。

応募スケジュール

日程	内容	備考
2023年11月1日（水）	エントリー（応募）受付開始	Webフォーム受付
2024年1月18日（木）	エントリー（応募）受付終了	17:00締切
2023年1月25日（木）	参加決定チームへの通知（予定）	多少前後する場合アリ



グランプリ情報
詳細はこちら

各地区予選大会・全国決勝大会スケジュール

日程	内容	備考
2024年2月17日（土）	北海道地区予選大会	オンライン開催
2024年2月20日（火）	東北・関東地区予選大会	オンライン開催
2024年2月11日（日）	中部地区予選大会	オンライン開催
2024年2月12日（月・祝日）	近畿地区予選大会	オンライン開催
2024年2月18日（日）	中国・四国地区予選大会	オンライン開催
2024年2月23日（金・祝日）	九州・沖縄地区予選大会	オンライン開催
2024年3月15日（金）	全国決勝大会	オンライン開催



「社会人基礎力」の育成・成長の審査について評価する視点を見直しています

社会人基礎力育成グランプリは、大会趣旨で述べているように、大学等での取り組みによって社会人基礎力が著しく成長した学生チームを表彰しています。その根底には、本大会を通して、社会人基礎力育成に関する効果的な授業等の取り組みを広く周知する目的があります。過去の審査内容が社会人基礎力が「どれだけ成長したか」としていたためもあり、プレゼンテーションでは成長の結果が強調される傾向が目立ちました。前回大会より、成長の過程を問う「どのように成長したか」を審査内容に加えています。学生たちに何がどのように影響を与え、成長するのかがよくわかることを期待しています。

年次大会にて担当の先生から指導方法等についてご発表いただいています

当協会では、年次大会を開催しています（本紙2ページの記事参照）。グランプリ委員会では、グランプリ参加チームを指導された先生から、その参加チームの成長の様子、先生の指導方法などについて発表をお願いしています。2件の発表の後に、会場を交えたパネルディスカッションも行い、指導の具体的な事例をじっくり聞く機会となっています。今回の大会からも年次大会での発表をお願いする先生を選び、お話を聞く計画です。

（グランプリ委員会 委員長 市川純章）

2021年度に社会人基礎力に関する産官学の対話の場としてスタートした年次大会は、今年度3回目となり、150名以上方々にご参加登録いただきました。今後とも、産官学の対話を重ねながら、「社会人基礎力」の普及を目指してまいります。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。以下に開催結果の概要をご報告します。

テーマ： 「社会人基礎力の未来を語る」

大会趣旨： 未来に求められる「社会人基礎力」とは何でしょうか。経済産業省によって社会人基礎力が掲げられた2006年から17年、社会人基礎力協議会が発足して10年、これまでの軌跡を振り返るとともに、これからの時代を担う人材に求められる社会人基礎力とは何か、改めて考えるときに来ていると思います。本大会の登壇者及び参加者が対話を通してともに考える良い機会となりました。

開催日時： 2023年10月13日（金） 15:00-18:30 （Webexによるオンラインイベント）

年次大会プログラム

分類	ご登壇者（所属はご登壇当時）
主催者挨拶・協議会講演	「社会人基礎力協議会10年の振り返りと現在の社会人基礎力」 長尾代表理事
基調講演	「未来人材に必要な社会人基礎力」 経済産業省 経済産業政策局 産業人材課長補佐 中山一馬氏
第1部 リカレント委員会 司会：渡邊委員長	「イオンの人的資本への取り組み」イオン株式会社 執行役副社長 渡邊廣之氏 「中小企業の役割・共に学び、共に育つ」株式会社山本工機 代表取締役 山本成年氏
第2部 研究委員会 司会：栗田委員長	「DX時代の女子教育と社会人基礎力を考える」 昭和女子大学附属中学校高校校教諭 栗田一誠先生 「魅力ある高校づくりと新しいタイプの学科設置について」 埼玉県教育委員会教育局 県立学校部副参事 兼 魅力ある高校づくり課副課長 栗藤 義明先生
第3部 グランプリ委員会 司会：市川委員長	グランプリ大会代表校教員の取り組み事例 「異文化間チームビルディングのためのマレーシア企業との協働イベント「Global Fireside Chat」」 北星学園大学 西原明希先生 「収穫と選果の手作業を支援するアプリ「Sortable」」大阪経済大学 中村健二先生
閉会・相談会・質問会	閉会挨拶（閉会后、社会人基礎力強化などに関する相談会・質問会を実施）

ご参加者アンケート結果

年次大会ご参加者向けに行ったアンケートによると、本年度の参加動機は研究発表が最も多く、回答者の7割が回答されていますが、全体に大きな差はなくまんべんなくご興味をもって参加いただいたようです。実際に参加した満足度を見ると、不参加を除くとすべてのセッションで80%以上が満足・やや満足と回答されています。後半に「不参加」が増加していますが、開催時間が3.5時間と長いことが影響しているかもしれません（昨年4時間からは30分短縮しております）。見逃された方はアーカイブ配信のご活用もお願いできればと思います。そのほか、運営方法についてはさらなる見直しを図り、参加者の皆様が参加しやすい方法を検討します。

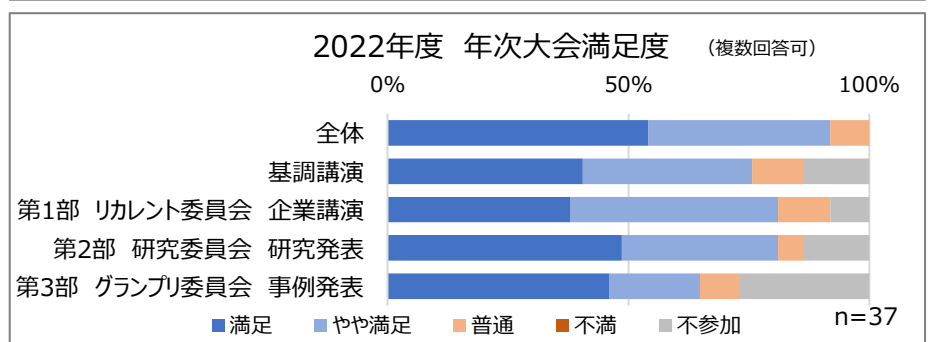
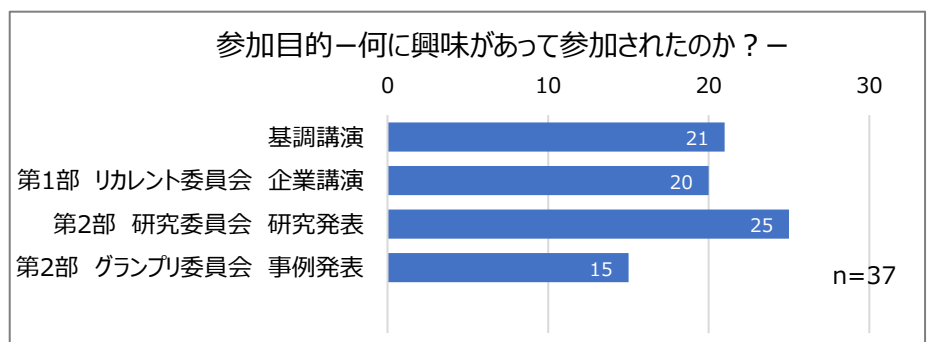
<アンケートに寄せられた主なコメント>

- 社会人基礎力は学生にわかりやすい指標で、100年時代の説明にやや苦戦していますが、今後も利用したいので参考になった。
- 時流に乗ったテーマで勉強になりました。
- 生成系AIとの関係性が出ていたのが良かった。
- グローバル規模の事例が印象に残りました
- 先生方の話は具体的で、ほかの授業等への汎用性もあり面白かったです。
- 社会が変化している中で従来の様な学校教育ではなく起業家と連携しながら様々な面から教育する事が重要だと痛感しました。今後の生き方に非常に参考になりました。
- グランプリ事例の学生の指導は、部下の育成にも通じるものがあり、大変参考になりました。
- 大学での現在の教育方針や課題などに触れられて、企業側としても課題認識に通じる部分があり、参考となりました。

来年度にむけて

今年度は、未来人材と社会人基礎力に関するヒントが得られるように、幅広い事例を取り上げました。来年度も、時代の変化に合わせたテーマを設定したいと考えております。ご意見ご要望がありましたら、ぜひ4ページ目の事務局連絡先までお知らせください。

（2023年次大会実行委員長 渡邊明男）



研究委員会では、本年度初の取り組みとして、「第1回社会人基礎力グランプリ高校生大会」を社会人基礎力教育会と共催で行います。

2023年4月に設立された社会人基礎力教育会（会長：栗田るみ子）は、本協議会同様経済産業省が提唱する「社会人基礎力」のある人材を育成することを目的とし、その目的に資するため、高校生グランプリの開催などを行う任意団体です。

「第1回社会人基礎力グランプリ高校生大会」では、各チームから「どのような活動に取り組み、どのように成長できたか」についての発表（プレゼンテーション）を行っていただきます。そして、産学官の有識者からなる審査委員会にて、学生たちの社会人基礎力の成長や知識の深まり等を審査し、社会で活躍ができる人材に育ったかという視点で総合評価します。

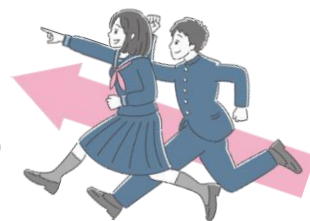
開催日：2024年3月8日(金)予定
 実行委員長：藤野陽三城西大学学長
 開催方式：リモート発表会

参加校募集は終了しています。
 オンライン観覧ご希望の方は、3月1日に社会人基礎力協議会HPに大会URLを掲載しますので、ご覧ください。問い合わせは以下まで。

社会人基礎力教育会事務局 近藤
 kondo@sai-media.co.jp

参加予定校（11月25日現在）：14校6チーム

1. 第33回埼玉県産業教育フェア連合チーム（埼玉県）
 農業科・工業科・商業科・家庭・看護・福祉科の連合9校
2. 県立八潮南高等学校（埼玉県）
3. 県立八潮南高等学校（埼玉県）
4. 県立沖縄中部農林高等学校（沖縄県）
5. 私立東京成徳大学深谷高等学校（埼玉県）
6. 私立神戸常盤女子高等学校（兵庫県）



（研究委員会 委員長 栗田るみ子）

4 社会人基礎力への関心の高まり！メディアからの取材報告

社会人基礎力協議会では、社会人基礎力に関する周知に取り組んでいます。メディアからの取材を受けた事例をご紹介します。

新聞科学研究所

「一般社団法人 日本新聞協会」のプロジェクトである「新聞科学研究所」のサイトに、「社会人基礎力を鍛えるには？若手社会人からやってみたい習慣を紹介」と題したインタビュー記事が掲載されました。「社会人基礎力」がこれまでも増して求められている時代背景と、「社会人基礎力」を向上させるために何が重要なのかについて、主に大学生と新卒者に向けたメッセージとなっています。また、簡易版診断も掲載され、読者は「社会人基礎力」がどの程度身につけているのか、3分程度で測ることができます。

<https://np-labo.com/archives/episode/202303kiji-02>

まいにちdoda

パーソルキャリアが運営するサイト「まいにちdoda」で「社会人基礎力」が紹介されました。おもに20～30代の若手ビジネスパーソン向けの記事で、「社会人基礎力」の概要と日々の業務の中でどのように「社会人基礎力」を発揮するのか、について説明しています。

https://mainichi.doda.jp/article/2023/08/30/2153_1

また、続編として、「巻き込み力」「要領のよさ」「決断力」「適応力」についても記事を掲載しています。

巻き込み力：<https://mainichi.doda.jp/article/2023/10/2501>

要領のよさ：<https://mainichi.doda.jp/article/2023/10/2701>

決断力：<https://mainichi.doda.jp/article/2023/10/3101>

適応力：<https://mainichi.doda.jp/article/2023/11/2001>



5 「新しい資本主義」の時代とリカレント委員会

令和5年6月6日閣議決定により「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画の改訂」が発表されました。

計画的な重点投資の4本柱は、人への投資、科学技術・イノベーション、スタートアップ、GX及びDXです。当協議会リカレント委員会に関連のある「人への投資」について、「キャリアは会社から与えられるもの」から「一人ひとりが自らのキャリアを選択する」時代となり、職務ごとに要求されるスキルを明らかにするもことと定義されました。労働者が自分の意思でリスキリングを行い、職務を選択できる制度に移行していくことが重要です。人的資本こそ企業価値向上の鍵との認識の下、変化への対応を急ぎ、人への投資を抜本強化する必要があります。企業側の変革も待たなしという観点から当リカレント委員会では企業による社会人基礎力育成の好事例紹介、およびリカレント教育実践者の講演を継続して行っています。

主な活動実績と今後のスケジュール

偶数月開催の6回の勉強会（4月、6月、8月、10月、12月、2月）を実施中です。10月は年次大会を開催しました。

4月15日：フォーラム&勉強会
 6月24日：フォーラム&勉強会
 8月19日：フォーラム&勉強会
 12月16日：フォーラム&勉強会
 2月24日：フォーラム&勉強会

一般社団法人日本自動車連盟 理事・経営企画部長 酒井明夫氏
 有限会社ジェットストローク 代表取締役 佐々木裕一氏
 ドラッカー学会理事・事務局長 八木澤智正氏
 株式会社千葉興業銀行 執行役員・人事部長 井上宏人氏
 未定（企業の取り組み事例紹介、または、リカレント教育実践者のご講演予定）
 （リカレント委員会 委員長 渡邊明男）

オープン型新入社員研修「ウチダカレッジ」では、社会人基礎力を活用し、「ビジネスパーソンとしての自覚と態度」を大切に、デジタル社会で活躍する人材教育を行っています。社会人向けの活用事例としてご紹介します。

ウチダカレッジとは

ウチダカレッジ新入社員研修では、自ら学び「ICT社会で活躍する企業人」の第一歩を踏み出すためのプログラムとして、4月から6月までの3か月間、ビジネスマナー研修、ICT基礎研修、プログラミング研修、セールス研修など29コースをご用意しています。



ウチダカレッジ新入社員研修の特長

- 01 ビジネスマインドの涵養から職種別スキルの習得まで一貫して研修を実施
 - SE/プログラマー ● IT業界営業職 ● デジタル人材/DX人材（業界問わず）
- 02 豊富な演習や発表の場を用いて成長を実感
 - 毎朝の3分間スピーチ
 - 単元終了時の発表会
 - 300問を超える豊富な演習問題
- 03 IT初学者～経験者まで、全てのレベルに対応した研修設計・運用
 - プログラミング研修はレベル別クラスを準備
 - 講師に加え、クラスマネージャーを配置し、受講者のあらゆる悩みをフォロー
 - 経験豊富・インストラクションスキルの高さに定評のある講師陣を配置

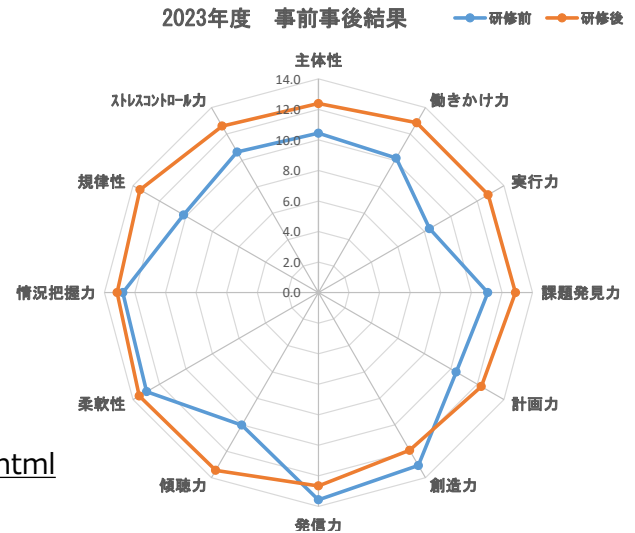
実績

サービス提供を始めて24年間、延べ562社、2746名が受講されています。2023年は、308名の方に受講いただいています。

社会人基礎力協議会による監修

新入社員研修ウチダカレッジでは、一般社団法人社会人基礎力協議会と連携を図っており、2023年度は、受講者向け「社会人基礎力アンケート」を監修いただいています。これは、社会人基礎力12の能力要素について研修前と研修後にアセスメントするもので、研修効果を可視化するとともに、受講者が今後の強化ポイントを知る一助にもなっています（右グラフサンプル参照）。

参考：2024年度新入社員研修 ウチダカレッジ
<https://www.uhd.co.jp/training/class/rookie/rookie01.html>



7 協議会機関誌「社会人基礎力研究」投稿論文募集 締切迫る！

事務局・研究委員会

2023年度の協議会機関誌「社会人基礎力研究」（第5号）の投稿論文締め切りが12/20（金）17:00と迫っています。ご予約されている方は、お忘れなくご送付ください。「社会人基礎力研究」は、社会人基礎力協議会における研究活動を広く世に問うことを目的として、年1回発行しているものです。会員の皆様の投稿をお待ちしております。詳細は、社会人基礎力協議会HPの「協議会機関誌『社会人基礎力研究』投稿論文募集のご案内」をご参照ください。

問合せ先： 社会人基礎力協議会 研究委員会e-mail : kurita@josai.ac.jp (委員長 栗田るみ子)



編集後記



ニュースレターへのご意見・ご要望募集

2023年度 社会人基礎力育成グランプリのエントリーが受付開始となりました。常連校はもちろん、初めてご参加いただく大学からの、多くのチームのエントリーをお待ちしております！このNewsでは大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていきます。会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。左記QRコードの協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。
 (担当：研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅)